

第9回ガイド実践入門「箱根」

2017年7月18日（火）

（一社）日本観光通訳協会 本部運営委員会研修レポート

7月18日（火）午前9時45分、箱根湯本駅に集合し「箱根」研修が行われました。参加者は総勢30名（会員限定29名、運営委員1名）、講師は矢木野さか恵副会長と森潔本部運営委員でした。参加者の内訳は女性23名、男性6名、語学別では英語25名、仏語2名、西語1名、独語1名でした。また、ベテランの方から中堅、新人まで幅広い方々が参加され、更に関東地区以外に愛知、奈良、広島からもご参加頂きました。

最初に森講師から箱根湯本駅でのキャリーサービスの案内があり、当日の12:30までに荷物を預けるとその日の夕方には宿泊先ホテルに届く為、身軽で箱根を観光できるという便利なサービスの紹介でした。また、箱根湯本駅から近郊の各旅館に100円で行けるバスの紹介がありました。そして箱根登山鉄道に乗り強羅に向かいましたが、途中3回のスイッチバックがある為、強羅駅の出口に近いのは先頭車両との説明がありました。途中、まだたくさん紫陽花の花が咲いている中を宮ノ下の富士屋ホテル（創業1878年）の歴史や日本初の野外美術館であり、森英恵さんが館長の「箱根彫刻の森美術館」の説明を聞きながら強羅駅へ到着。そしてケーブルカーに乗り早雲山駅へ。次にロープウェイに乗継ぎ、大涌谷へ到着。



大涌谷では黒タマゴの販売所と卵を山の中腹の温泉池に送るリフトの紹介をし、富士山がよく見える場所を確認しましたが、富士山は美女には顔を隠すとと言われるとおり、美女ばかりの研修グループの前には隠れて見えませんでした。

その後、桃源台まで降りたのですが、その時雷雲の発生により、ロープウェイの運航を中断するとの案内がありましたが、運よく研修グループは全員桃源台に到着できました。海賊船に乗るまでの時間を利用し、桃源台ビューレストランで昼食をとりました。海賊船では深良用水の歴史や九頭龍神社本宮を説明し、箱根園や元岩崎小弥太別邸であった山のホテル、そして恩賜公園を見ながら箱根町港に到着。箱根町港では駅伝の説明や箱根町港近辺のレストランを紹介。そして箱根関所では矢木野副会長による英語のモデルガイディングでまずは寄木細工のお店での実演の見学とからくり美術館を見学。その後関所の説明と茶店や関所資料館を見学。その後、森講師の案内で杉並木を歩き、そして芦ノ湖畔沿いを元箱根港まで歩きました。そこから箱根神社の見学と湖畔に立つ平和の鳥居を見学しました。



帰路は旧街道経由のバスで甘酒茶屋や畑宿の寄木細工の店を車窓から見ながら箱根湯本まで戻り解散となりました。バスに乗った途端に大雨が降りだし、更に箱根湯本に着いたら雨はやみ、大変ラッキーな一日でした。内容の濃い有意義な研修となりました。